

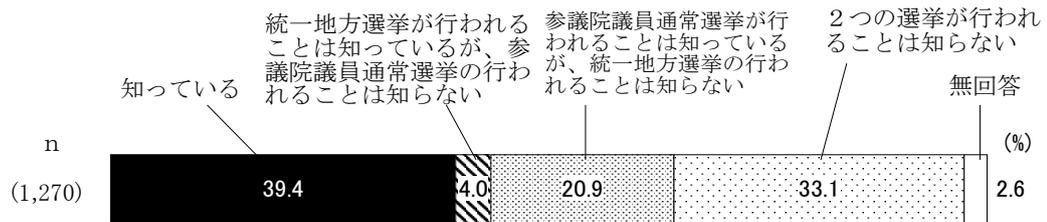
7 選挙について

7-1 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況

- ◎ 両方とも「知っている」が約4割、統一地方選挙が4割強、参議院議員通常選挙が6割

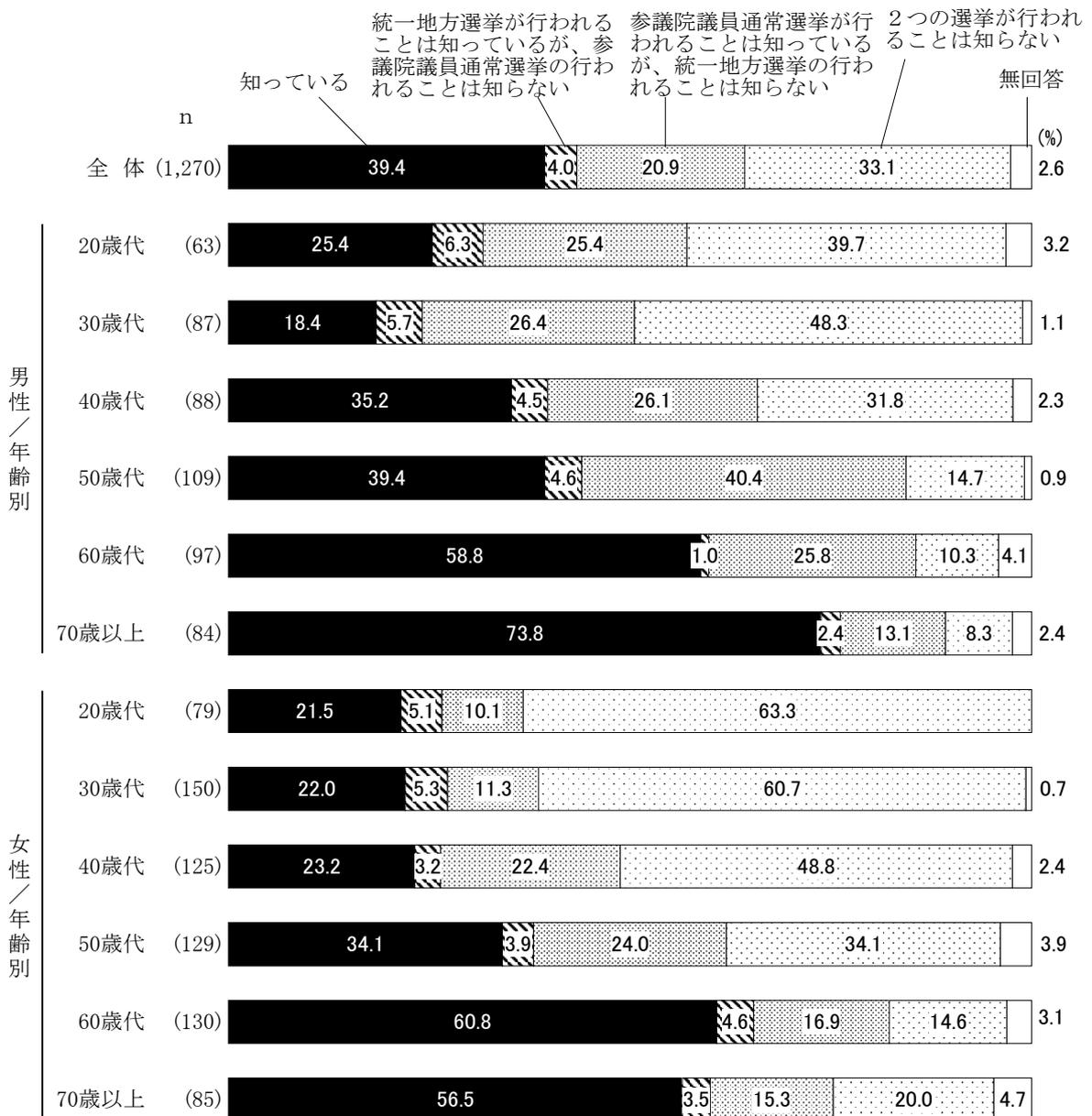
問17 あなたは、平成19年中に2つの選挙が行われることを知っていますか。(○は1つ)

図表7-1 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況



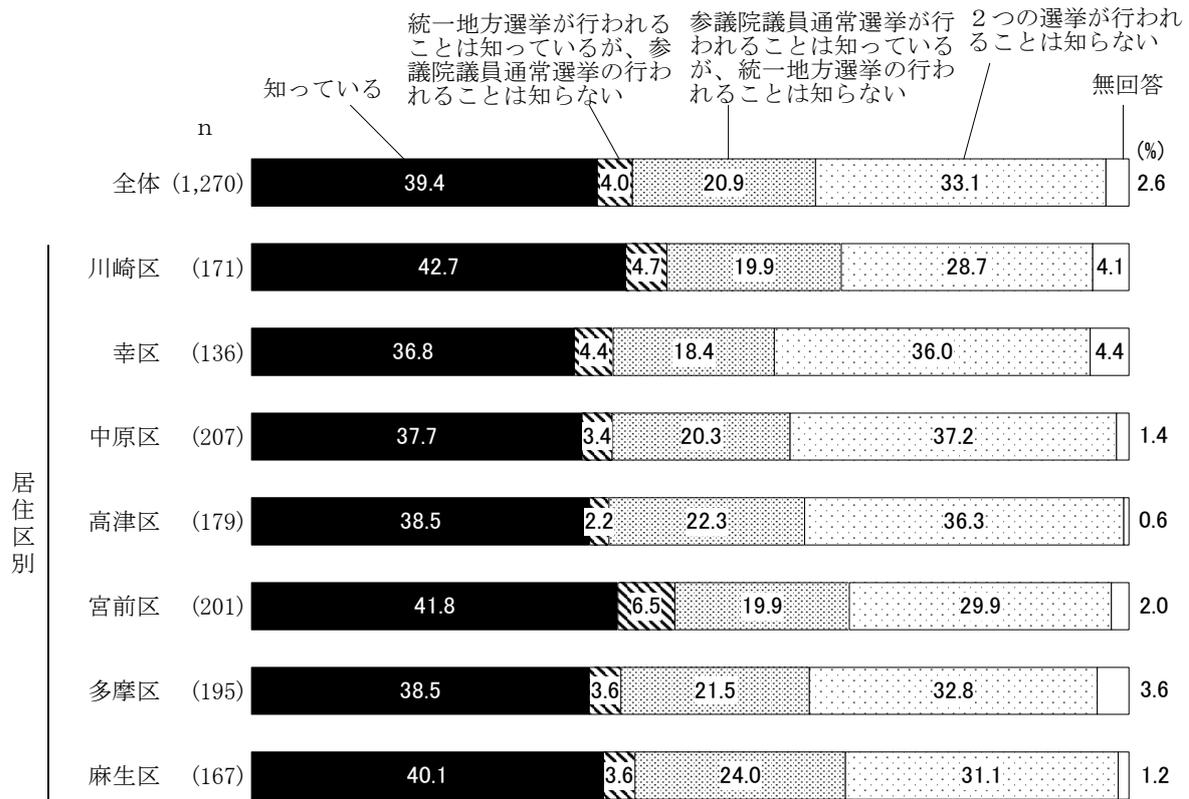
2つの選挙の認知状況は、両方とも「知っている」が39.4%、認知度は統一地方選挙(43.4%)が4割強、参議院議員通常選挙(60.3%)が6割となっている。また、「2つの選挙が行われることは知らない」が33.1%となっている。(図表7-1)

図表7-2 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況(性/年齢別)



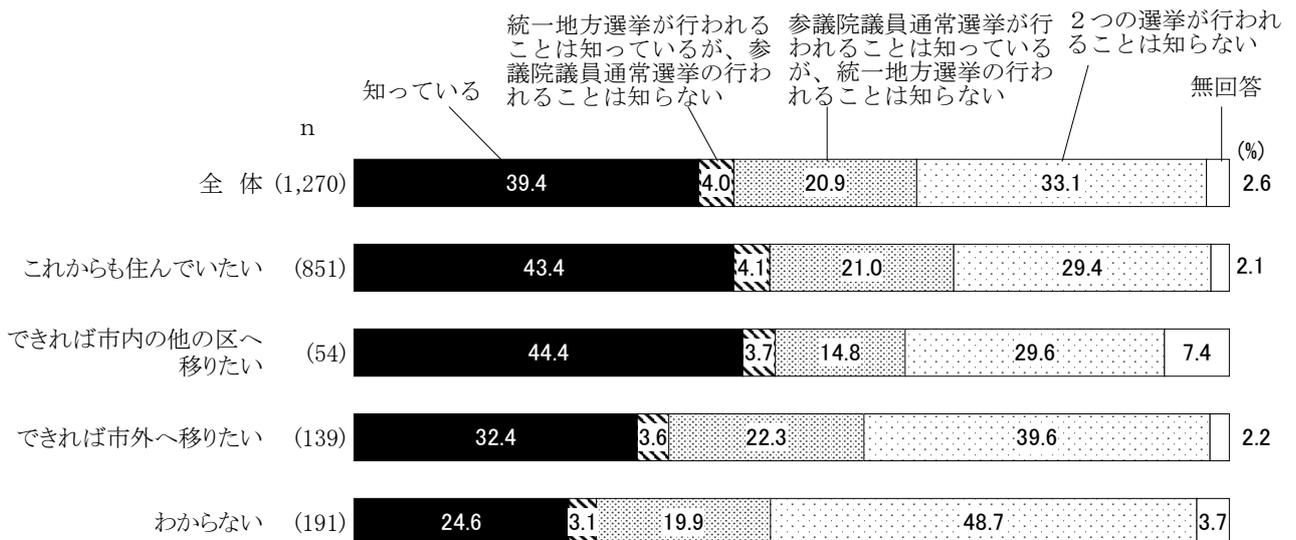
性/年齢別では、女性よりも男性の方が認知度が高くなっている。また、男女ともに概ね20歳代から30歳代は低いですが、年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられる。特に両方とも「知っている」は男性の70歳以上で7割、女性の60歳代で6割台となっている。一方、「2つの選挙が行われることは知らない」は男性では30歳代で半数近く、女性では20歳代と30歳代で6割を超えている。(図表7-2)

図表7-3 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況(居住区別)



居住区別では、区によって大きな差はみられないが、統一地方選挙の認知度は宮前区で半数近くと最も高くなっている。(図表7-3)

図表7-4 統一地方選挙と参議院議員通常選挙の認知状況(定住意向別)



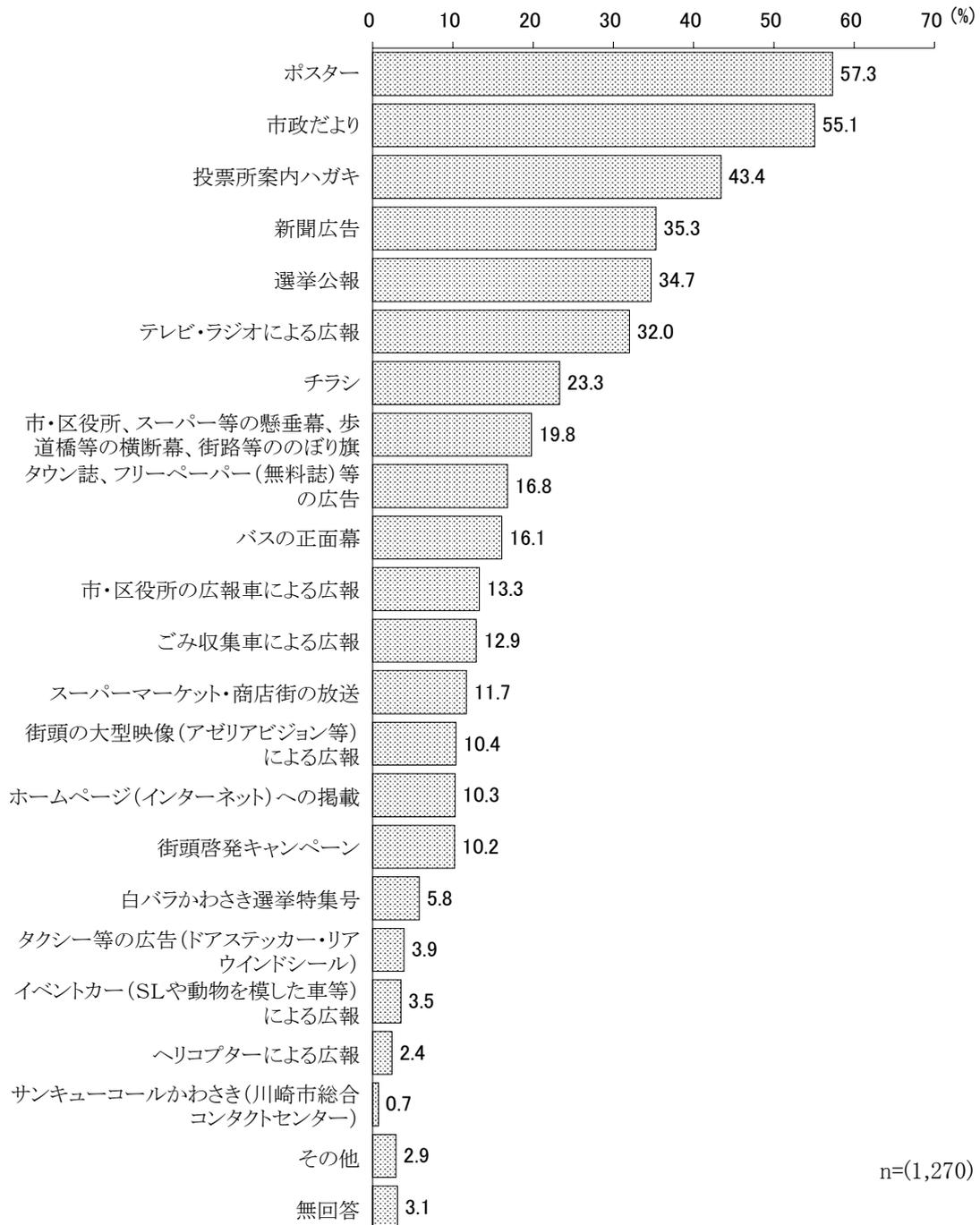
定住意向別では、“これからも住んでいたい”は参議院議員通常選挙の認知度が6割台半ばと最も高い。また、“これからも住んでいたい”と“できれば市内の他の区へ移りたい”は統一地方選挙の認知度が半数に近く、“できれば市外へ移りたい”および“わからない”と比較して高くなっている。(図表7-4)

7-2 2つの選挙の情報源として効果的なもの

◎ 「ポスター」が57.3%、「市政だより」が55.1%

問18 あなたが、来年行われる2つの選挙について、情報源として効果的だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表7-5 2つの選挙の情報源として効果的なもの

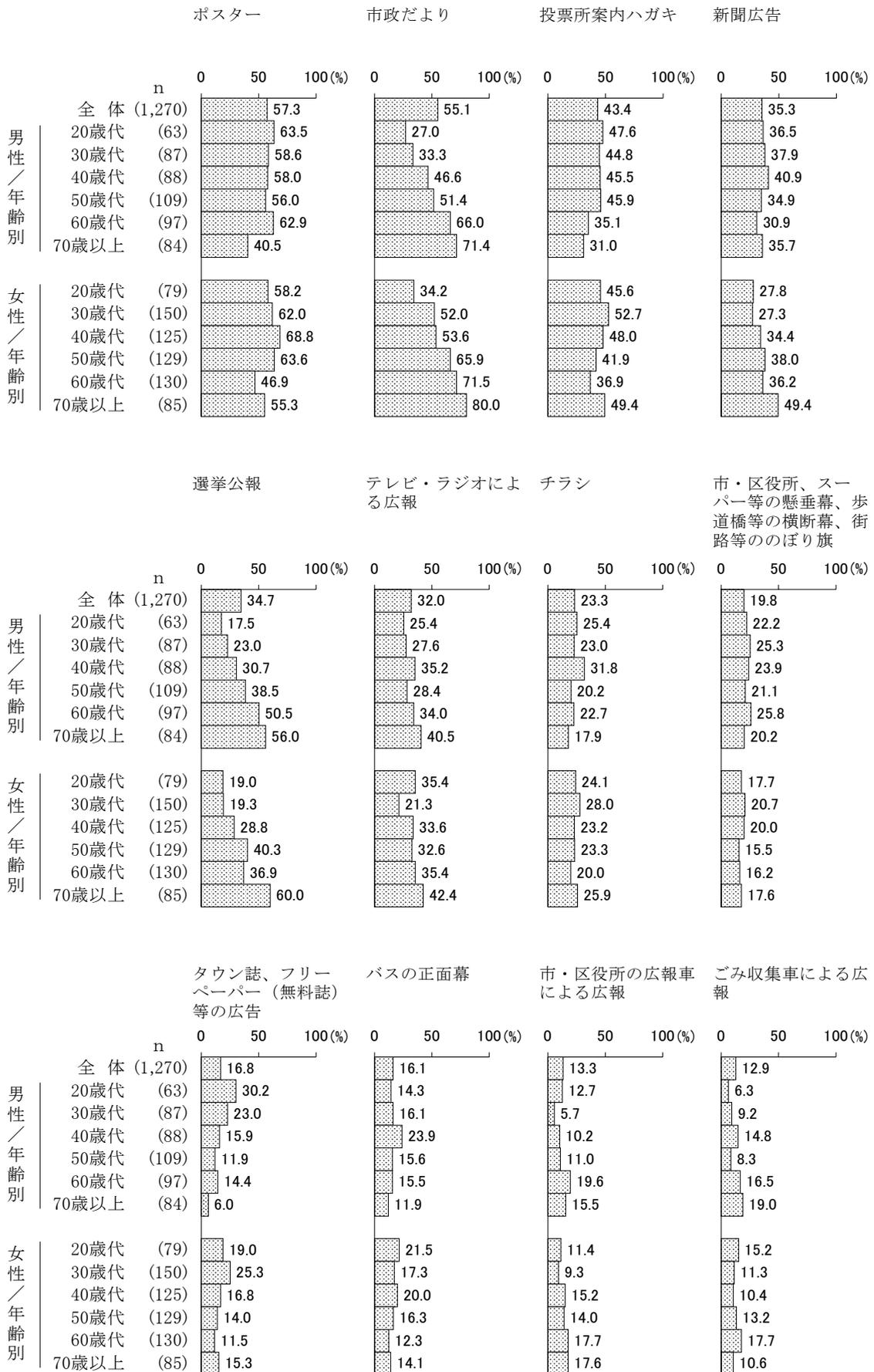


2つの選挙の情報源として効果的なものは、「ポスター」が57.3%、「市政だより」が55.1%で比較的多くなっている。次いで「投票所案内ハガキ」(43.4%)が多い。以下、「新聞広告」(35.3%)、「選挙公報」(34.7%)、「テレビ・ラジオによる広報」(32.0%)、「チラシ」(23.3%)と続いている。(図表7-5)

性/年齢別では、「ポスター」は女性の40歳代で7割に近い。「市政だより」と「選挙公報」は男

女ともに概ね20歳代が少ないが、年齢が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。「投票所案内ハガキ」は女性の30歳代で半数を超えている。「新聞広告」は女性の70歳以上で半数に近い。「タウン誌、フリーペーパー（無料誌）等の広告」は男性の20歳代で3割、女性の30歳代で2割台半ばとなっている。（図表7-6）

図表7-6 2つの選挙の情報源として効果的なもの（性／年齢別、上位12項目）

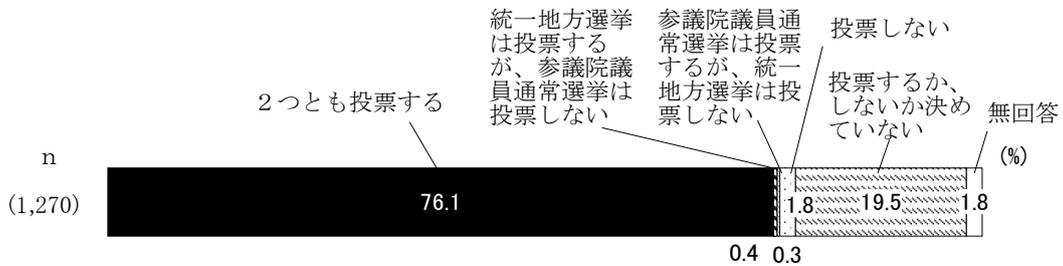


7-3 2つの選挙への投票意向

◎ 「2つとも投票する」が76.1%

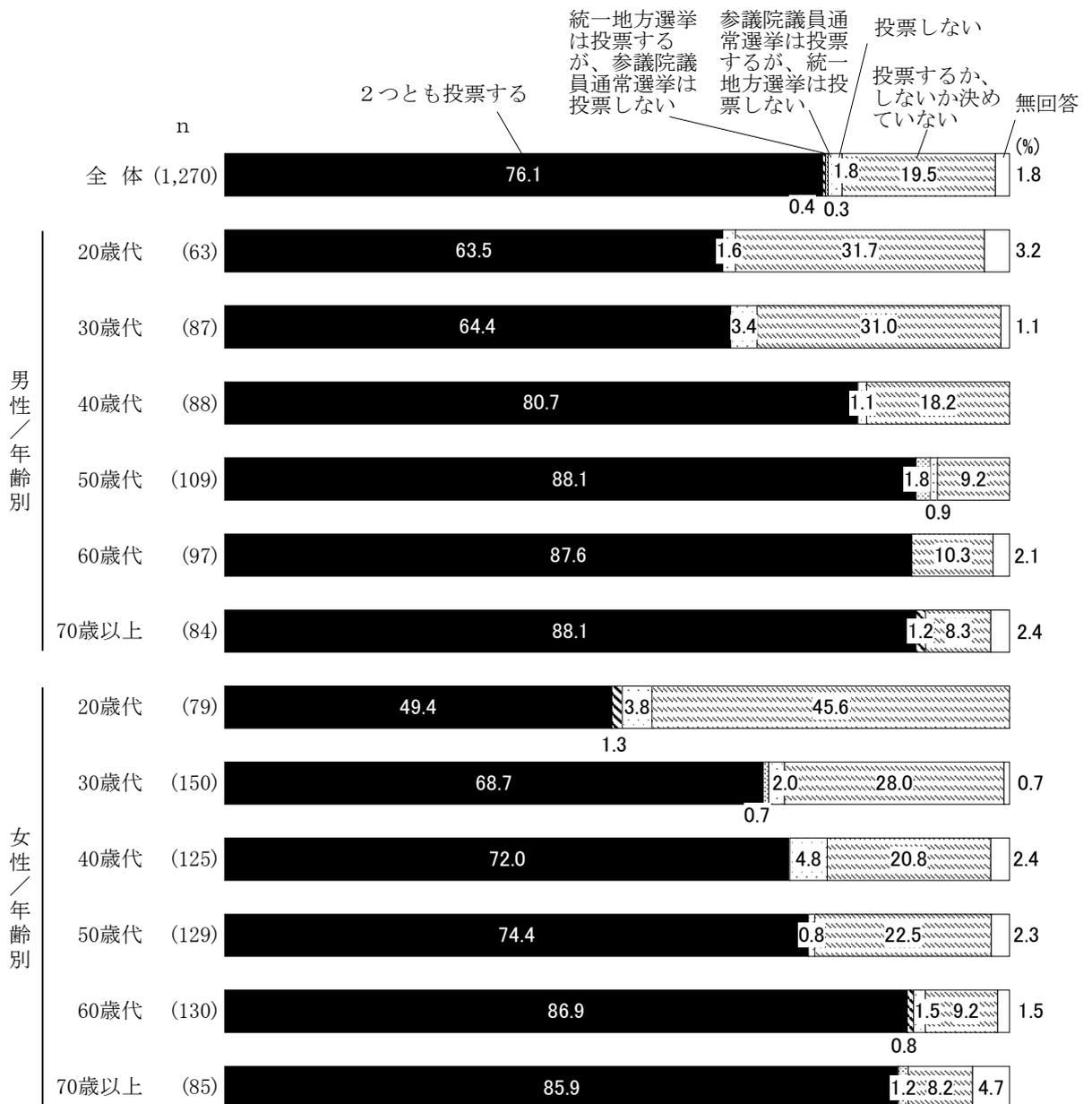
問19 あなたは、来年行われる2つの選挙で投票しますか。(〇は1つ)

図表7-7 2つの選挙への投票意向



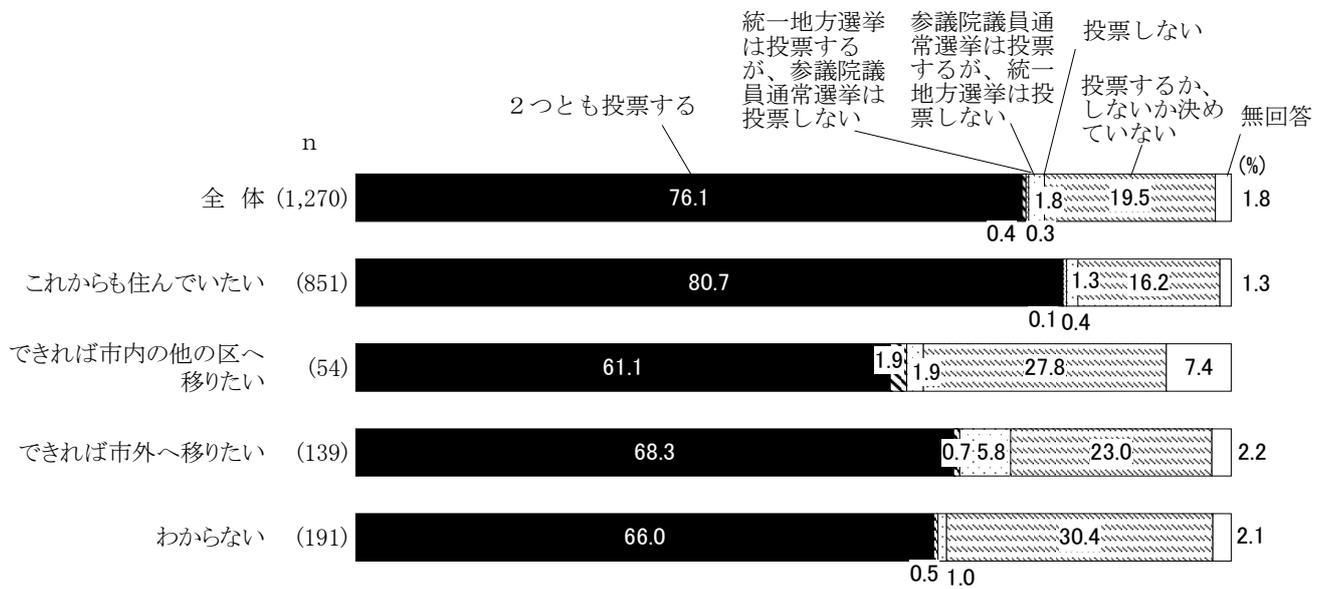
2つの選挙への投票意向は、「2つとも投票する」が76.1%、「投票するか、しないか決めていない」は19.5%となっている。(図表7-7)

図表7-8 2つの選挙への投票意向(性/年齢別)



性/年齢別では、「2つとも投票する」は男女ともに概ね20歳代が少ないが、年齢が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。特に、男性の50歳以上では9割近くとなっている。「投票するか、しないか決めていない」は女性の20歳代で4割台半ばと最も多い。(図表7-8)

図表7-9 2つの選挙への投票意向(定住意向別)



定住意向別では、「2つとも投票する」は「これからも住んでいたい」で8割を超えて最も多くなっている。(図表7-9)

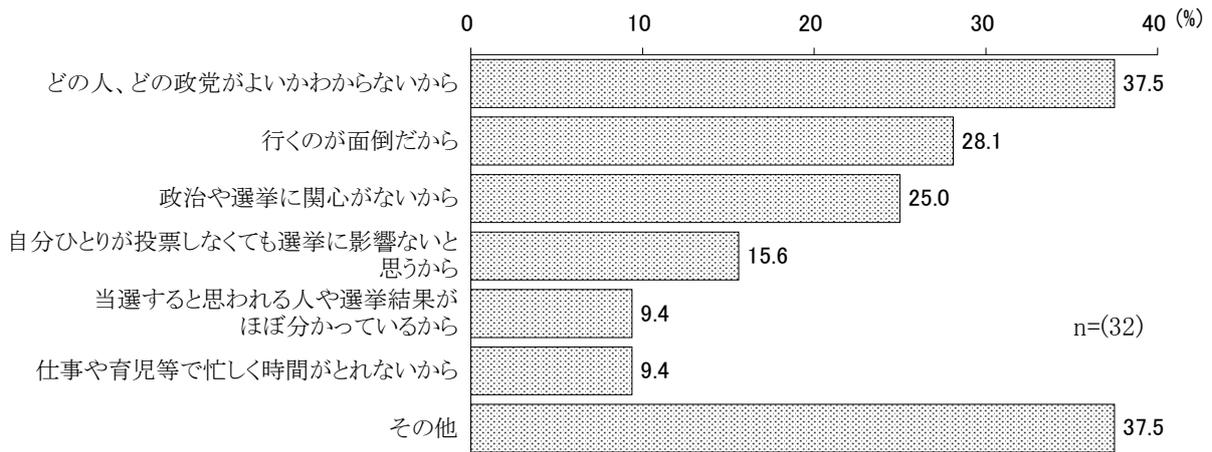
7-4 投票しない理由

◎ 「どの人、どの政党がよいかわからないから」が37.5%

(問 19 で「統一地方選挙は投票するが、参議院議員通常選挙は投票しない」、「参議院議員通常選挙は投票するが、統一地方選挙は投票しない」、「投票しない」と答えた方にかがいます。)

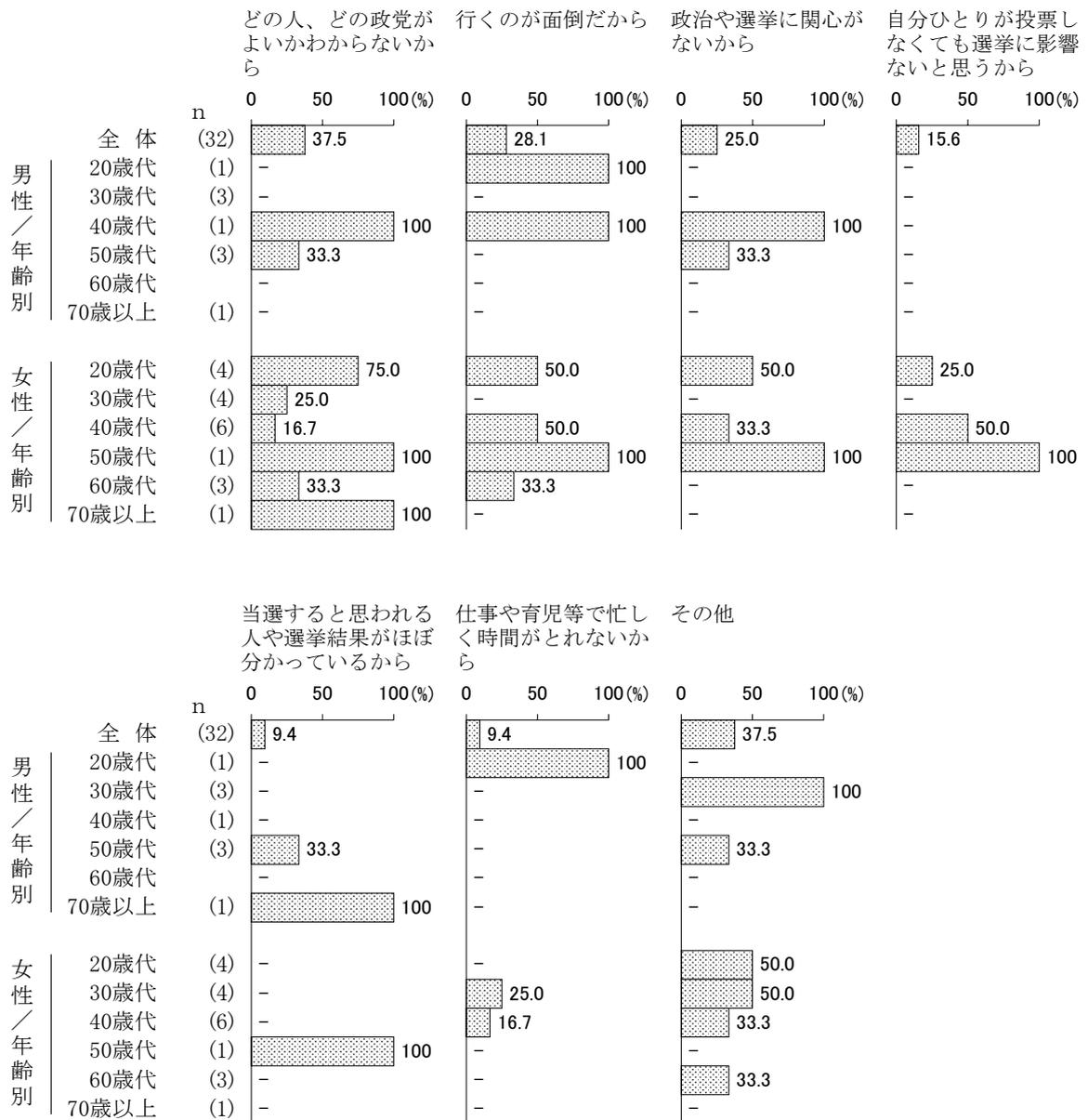
問 19- (1) 投票しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 7-10 投票しない理由



どちらかまたは両方の選挙に『投票しない』理由は、「どの人、どの政党がよいかわからないから」が 37.5%で最も多く、以下「行くのが面倒だから」(28.1%)、「政治や選挙に関心がないから」(25.0%)、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響ないと思うから」(15.6%)と続いている。また、「その他」は 37.5%となっている。(図表 7-10)

図表7-11 投票しない理由(性/年齢別)



性/年齢別では、基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。(図表7-11)

7-5 期日前投票・不在者投票制度の認知状況

◎ 「知っている」が95.3%と全数に近い

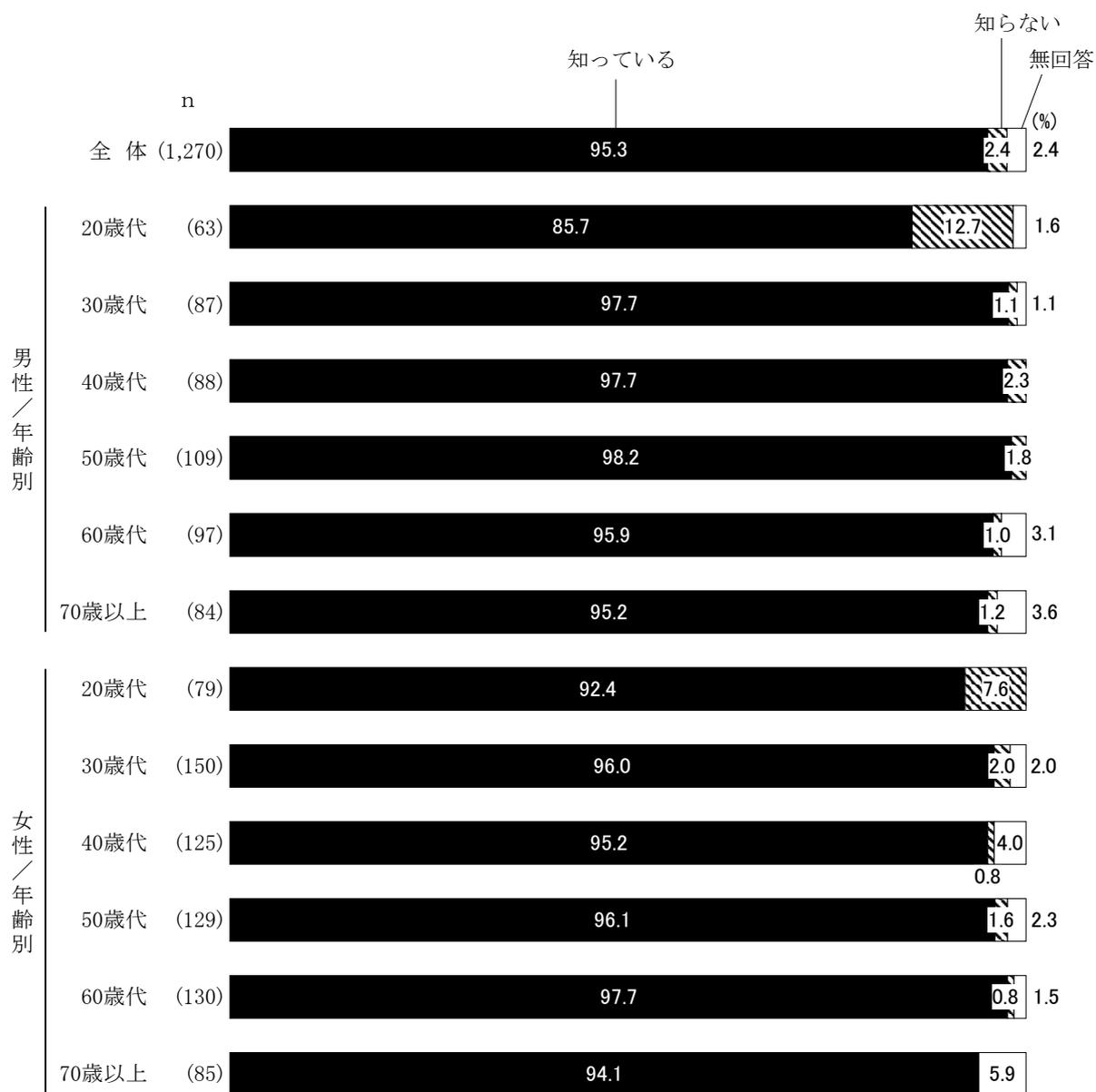
問 20 投票日に用事のある方は、投票日の前に投票できる期日前投票・不在者投票制度がありますが、この制度を知っていますか。(○は1つ)

図表7-12 期日前投票・不在者投票制度の認知状況



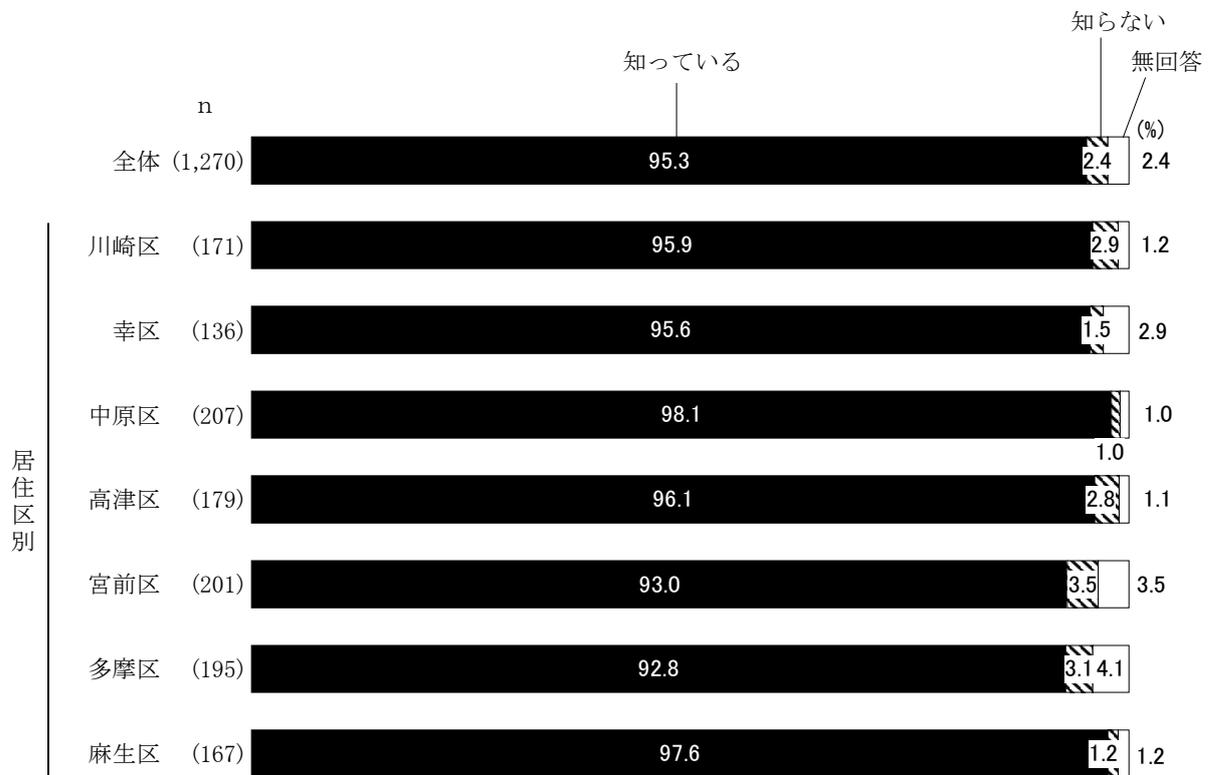
期日前投票・不在者投票制度の認知状況は、「知っている」人が95.3%と全数に近くなっている。(図表7-12)

図表7-13 期日前投票・不在者投票制度の認知状況(性/年齢別)



性/年齢別では、性別と年齢によって大きな差はみられないが、「知らない」は男女ともに20歳代で最も多く、男性の20歳代では1割を超えている。(図表7-13)

図表7-14 期日前投票・不在者投票制度の認知状況（居住区別）



居住区別では、区によって大きな差はみられない。(図表7-14)

7-6 期日前投票・不在者投票制度の利用状況

◎ 「利用したことがある」が38.3%

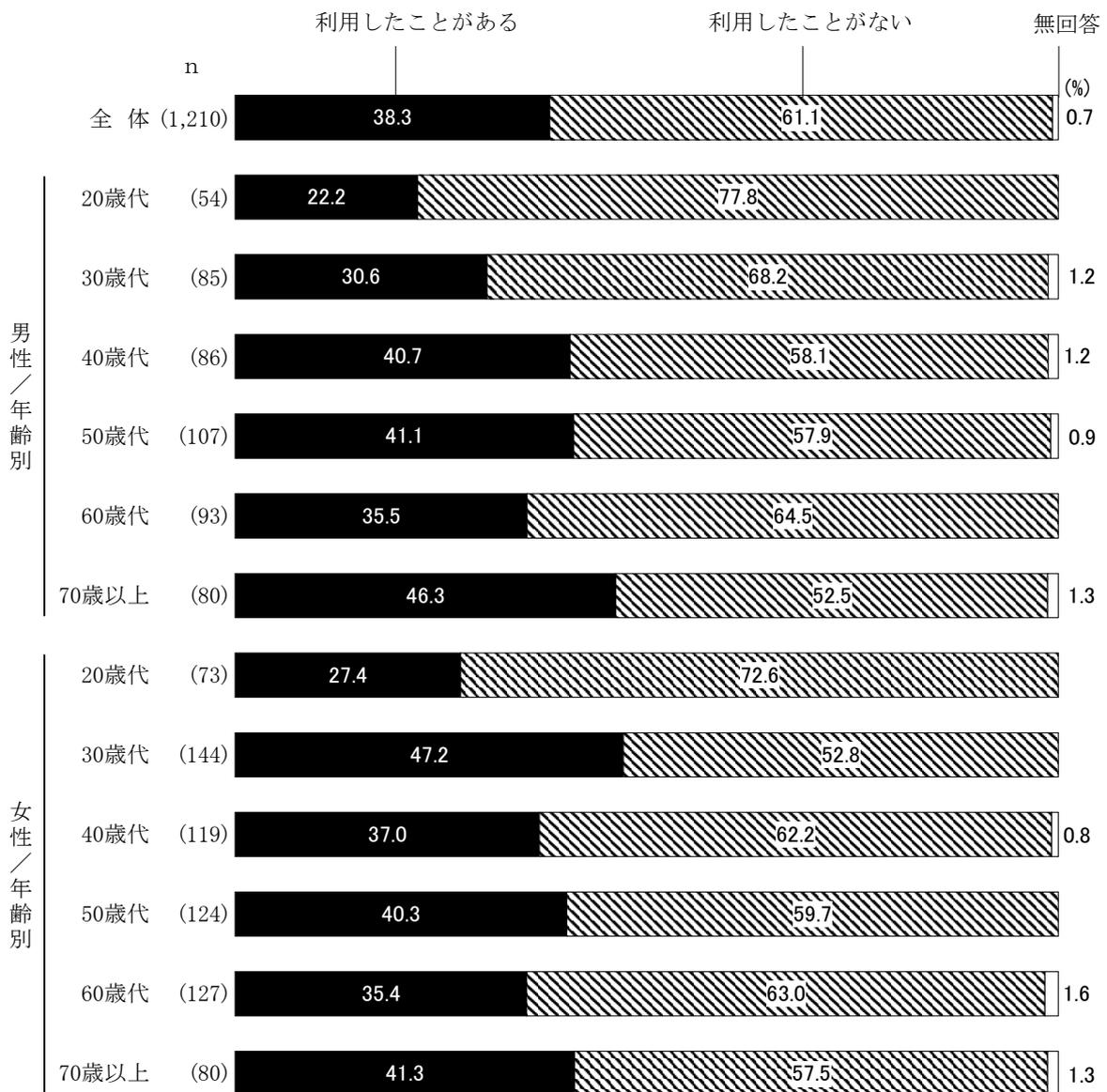
(問20で(期日前投票・不在者投票制度を)「知っている」と答えた方にうかがいます。)
問20-(1) 期日前投票・不在者投票制度を利用したことがありますか。(○は1つ)

図表7-15 期日前投票・不在者投票制度の利用状況



期日前投票・不在者投票制度を「知っている」人の利用状況は、「利用したことがある」が38.3%、「利用したことがない」が61.1%となっている。(図表7-15)

図表7-16 期日前投票・不在者投票制度の利用状況(性/年齢別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は男性の70歳以上と女性の30歳代で4割台半ばとなっている。一方、「利用したことがない」は男女ともに20歳代で最も多く、男性の20歳代で8割に近い。(図表7-16)

7-7 期日前投票・不在者投票制度への意見

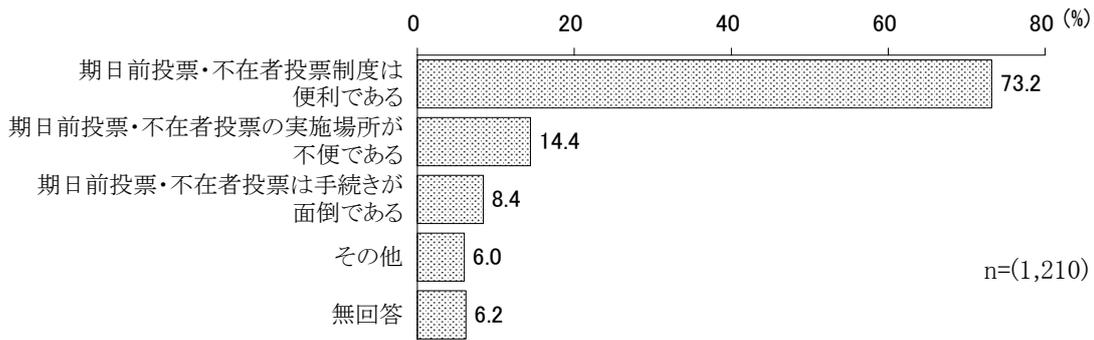
◎ 「期日前投票・不在者投票制度は便利である」が73.2%

(問20で「知っている」と答えた方にかがいます。)

問20-(2) 期日前投票・不在者投票制度について、どう思いますか。

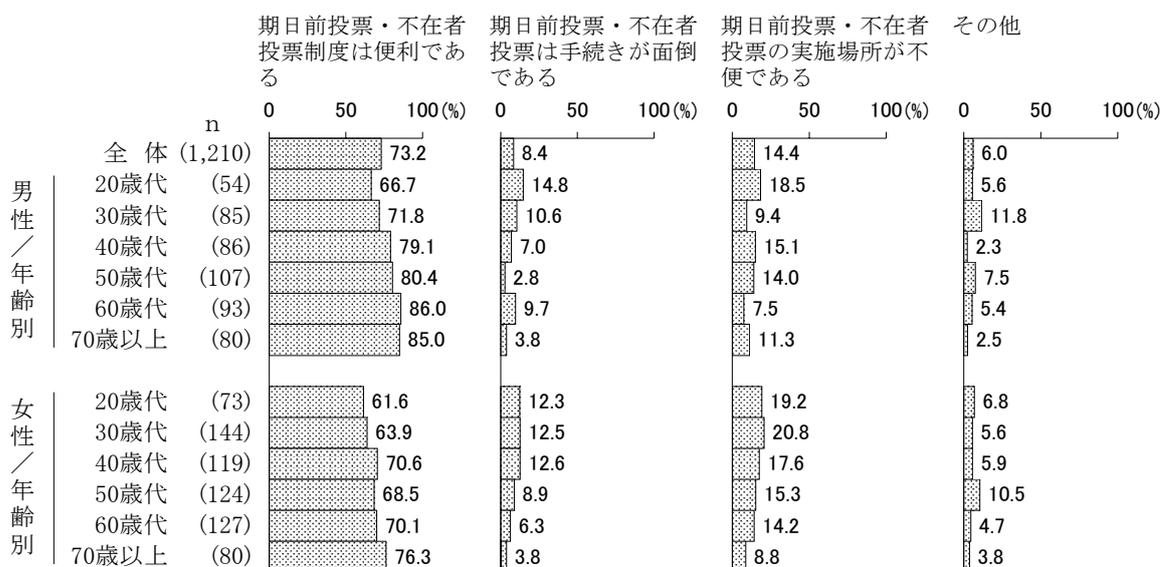
(あてはまるものすべてに○)

図表7-17 期日前投票・不在者投票制度への意見



期日前投票・不在者投票制度への意見は、「期日前投票・不在者投票制度は便利である」が73.2%で最も多い。以下、「期日前投票・不在者投票の実施場所が不便である」(14.4%)、「期日前投票・不在者投票は手続きが面倒である」(8.4%)と続いている。(図表7-17)

図表7-18 期日前投票・不在者投票制度への意見



性/年齢別では、「期日前投票・不在者投票制度は便利である」は男女ともに概ね20歳代が少ないが、年齢が高くなるにつれて多くなる傾向がみられる。「期日前投票・不在者投票は手続きが面倒である」は男性の20歳代で1割台半ばとなっている。「期日前投票・不在者投票の実施場所が不便である」は男性の20歳代で2割に近く、女性の20歳代から40歳代で2割前後となっている。(図表7-18)